

頑張れ嘉風

中津市長 奥塚 正典

毎年11月、九州場所後、嘉風関が中津に帰ってきます。関取に会うのは楽しみです。30代後半になり今や相撲界ではベテラン、全国にファンが多い。何といてもその取り口が、まともですがすがしい。立ち合いにきちんと両手をつき、体も大きくないのに真正面からぶつかっていく。果敢なスピード相撲で横綱や大関によく勝ち、金星数も現役トップ。ケガをしても大丈夫ですと弱音をはかないし言い訳もしない。年季が入った分、本当は痛んだ体で相撲を取っているはず。こんな姿が人を引き付けているのでしょう。

語る言葉が、またこの人の相撲を見たくさせます。1年前、「横綱が自分をいやな相手だなと思っているのを感じ、勝てるのではないかと思いながら土俵に上がれている」と控えめに、でも頼もしく話してくれました。技能も心の持ちようもさらに高みを目指し自分の相撲人としての進化を楽しんでいるようでした。九州場所、初場所の横綱白鵬戦を見ても、名力士の風格が出てきましたね。

中津工業高校（現中津東高校）で3年間を過ごし、その時の指導者、先輩、仲間、そして多くの中津市民が今でも支え応援しています。きっと高校時代が関取を作り上げる土台となり、今花開いているのではないのでしょうか。これも中津の持つ力と信じています。名前を

取った「嘉風相撲大会」には九州各県から多くの小中学生が参加し嘉風関を目指します。

自分の道を一步一步進んできた晩成型の嘉風関。自分流のスタイルが取れなくなったら潔く身を引くタイプかもしれません。どうか体に気をつけて上を目指して一日も長く頑張ってください。中津人は度量が広いですから、「大分県佐伯市出身・・・」のアナウンスでも応援しますよ。嘉風ファンを沸かせてください。

